

Supported by



# 洋上作業員の安全訓練施設を設立準備中

青い空、青い海のリゾート。  
そんなところで、実海域訓練ができる  
GWO認証安全訓練施設を設立準備中。



(外観イメージ図)

安全訓練施設 in 伊王島 (中心市街地から高速船で20分、車で30分)



引用：i+Land nagasaki



引用：馬込教会



引用：i+Land nagasaki



引用：伊王島灯台



NPO 法人 Nagasaki Marine Industry Cluster Promotion Association  
長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

〒850-0862  
長崎県長崎市出島町1-43 D-FLAG105  
TEL: 095-893-8251 FAX: 095-893-8461  
E-mail: [info@namicpa.com](mailto:info@namicpa.com)  
URL: <https://noa.nagasaki.jp>

# 海洋エネルギーの「知」と「産」の拠点



■SEP船・CTV・洋上風車のVR

■洋上作業員向け安全訓練施設

■長崎市内実証フィールド

■移乗訓練用CTV

■MIA  
(海洋統合環境無人プラットフォーム)

■長崎海洋アカデミー  
洋上風力の人材育成拠点

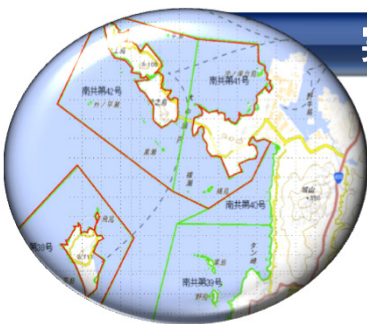


**NAGASAKI OCEAN ACADEMY**  
Supported by **日本海洋産業イノベーション**

## 洋上風力の人材育成拠点

実践的技術やノウハウを持った海洋開発技術者の人材育成

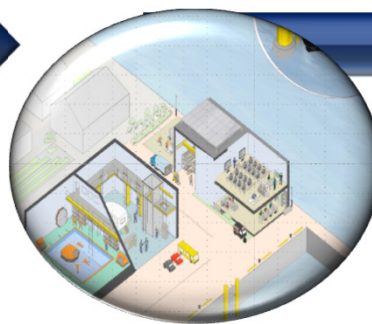
コース名	コース内容
① 総論	・洋上風力発電の概要を幅広く学ぶ
② 事業開発	・プロジェクト管理、業務遂行など一連を学ぶ
③ 認証・保険・ファイナンス	・洋上特有の認証、保険、ファイナンスを短期間で学ぶ
④ 基礎構造の選定と洋上施工	・地盤調査、基礎構造選定、施工方法を学ぶ
⑤ EPCプロジェクトマネジメント	・EPCプロジェクトの遂行に必要な知識と対応力を学ぶ
⑥ 浮体式洋上風力発電	・日本で大きな市場になるとみられる浮体式を学ぶ



### 実証フィールドセンター

実海域での実証研究サポート

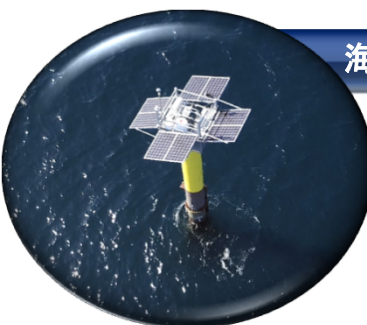
実証場所	長崎県長崎市の一部海域
海域特徴	①関連漁協との基本合意あり ②海域環境(水深20~50m、透明度が高い) ③産官学による技術支援
サポート	各種調整、機材レンタル など



### 洋上安全訓練施設

洋上作業員向けの安全訓練施設  
設立準備中!!

実施場所	長崎県長崎市伊王島
訓練内容	①応急処置 ②シーサバイバル ③防火と消火 ④高所作業 ⑤マニュアルハンドリング



### 海洋統合環境プラットフォーム

ドップラーライダーでの風況観測

搭載機器	ドップラーライダー、独立電源
観測	風向、風速、気温、湿度、気圧、日射量 など
仕様	スパー型浮体式 全高26m、喫水14m、質量46トン



### 潮流発電実証事業

国内初!!  
商用スケール大型潮流発電実証試験

実施場所	長崎県五島市
発電規模	1MW×1基
実施期間	2022年度~2025年度
事業代表者	九電みらいエネルギー株式会社



NPO 法人 Nagasaki Marine Industry Cluster Promotion Association  
長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

〒850-0862  
長崎県長崎市出島町1-43 D-FLAG105  
TEL: 095-893-8251 FAX: 095-893-8461  
E-mail: [info@namicpa.com](mailto:info@namicpa.com)  
URL: <https://noa.nagasaki.jp>

# 長崎海洋アカデミー(NOA) 実海域フィールドセンター

## 海洋機器の実海域試験のための実証フィールドと 諸手続きを支援するサービスを提供します

**伊王島**

ROV調査訓練

長崎港

NAGASAKI

**フィールドセンター**

長崎県 西彼南部漁業協同組合の協力の下  
伊王島・高島・香焼沖を実証フィールドとして指定

**香焼**

実験イメージ

**高島**

提供：西部環境調査(株)

### ● 海域の特徴

- ① 地元漁協との基本合意が得られている
- ② 実証試験に適した海域環境(水深20~50m、透明度が高い)
- ③ 海洋情報が得やすい環境(NOWPHAS観測拠点、气象台)

- ④ 作業船などの支援体制が充実
- ⑤ 産官学による技術支援
- ⑥ アクセスが良好

### ● レンタル可能な機器設備

- ① 水中観測用小型ROV
- ② 潮流計測用ADCP
- ③ 風況観測用ドップラーライダー
- ④ データ収録/通信システム
- ⑤ 独立電源設備
- ⑥ 動揺計測センサー

### ● 手続きの流れ



# MIA

## Marine environmental data Integrated Acquisition platform

### 海洋統合環境無人観測プラットフォーム



#### 観測・搭載機器

ドップラーライダー：DIABREZZA  
高度40～250mの風況観測  
3次元風ベクトル計測（動揺補正機能付き）

独立電源  
燃料電池，太陽光パネル，Li-ionバッテリー

その他  
風向・風速，気温，湿度，気圧，日射量など

オプション機器  
バードレーダー，魚群探知機，水中マイクロフォン，カメラ

#### 浮体・係留形式

##### スパー型浮体

全高：約26m，浮体径：下部2.15m，上部1.0m  
喫水14.5m，質量：約46ton  
上部プラットフォーム観測室：2.0m×2.0m，太陽光パネルを含む最大幅：5.5m

##### 係留

3点カテナリー係留（チェーン，繊維索の複合ライン）  
設置可能水深：30m以深

<問合せ先>

西部環境調査株式会社

Tel. 0956-20-3232, e-mail : eigyou@serc.jp

NPO法人 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

Tel. 095-893-8251, e-mail : info@namicpa.com